

## 議事録

会議名	第 2 回 定例役員会	記録	谷口
日時	平成 26 年 6 月 10 日 (火)	確認・発行者	

## 出席者

支部長	駒木根洋一					
副支部長	安達政市	谷口博司	堤正	加藤覚	四ノ宮健司	
役員	武内正光	鈴木民夫	山田雅典	中野信之	富田克己	工藤喜則
	塚田芳久	佐藤吉見	美濃輝之			
監査役	高橋浩子					

## 配布資料

資 料	
1	4 月 22 日役員会議事録
2	平成 26 年度理事会資料
3	北海道開発局コンプライアンス関連書類
4	J 5 (建築専門家団体) 認定資格懇談会書類
5	支部規定修正案関連
6	平成 26 年度積算士更新講習申込状況
7	北海道建築設計会議 115 回幹事会議事録

## 確認事項

報告者	資料No	主な議題
谷口	1	前回役員会議事録の確認

## 審議事項

報告者	資料No	主な議題
		なし

## 報告事項

報告者	資料No	主な議題
支部長	2	<p>[平成 26 年度理事会資料]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員数の減少に伴う財政問題</li> <li>・ 北海道における会員数（個人＋特別）の全国比率は 4.9%</li> <li>・ 平成 27 年度の事業計画 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人材の育成</li> <li>2. 調査研究の充実と情報発信の促進</li> <li>3. 評価認定及び相談事業の推進</li> <li>4. 持続可能な財政基盤の構築</li> <li>5. 協会のブランディング</li> <li>6. 会員の増強</li> </ol> </li> </ul>

		7. ホームページ及び ICT の活用促進
支部長	3	<p>[北海道開発局コンプライアンス関連書類]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月16日北海道開発局 吉野営繕部長と武田課長補佐が来室し、開発局のコンプライアンス取組について説明を受けた。支部からの出席者は駒木根・安達・谷口・武内・山田の5名である。内容に関しては添付資料を参照していただきたい。</li> </ul>
支部長	4	<p>[J5認定資格懇談会書類]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・独自の認定資格を持つ建築5団体の第1回懇談会が開催された。</li> <li>・会議の内容は <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 設立目的</li> <li>(2) 北海道での活用状況</li> <li>(3) 今後の進め方</li> <li>(4) その他</li> </ul> </li> <li>・設立の目的は <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 5団体で認知度向上</li> <li>(2) CPDの共用化</li> </ul> </li> <li>・役員からの意見 <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携する効果が見えてこない</li> <li>・事務所協会は独自資格を持たないので参加していないが、問題はないのか。</li> <li>・建築士会は専攻建築士の認知度UPを目指しており、他団体に声かけをして互いの資格を高める狙いもある。</li> <li>・規模の大きなプロジェクトに参画するときはメリットがある。</li> <li>・官公庁物件の指名をJ5で受けるのは難しい。</li> </ul> </li> </ul>
四ノ宮		<p>[会員増強キャンペーン]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な提案をするのか。</li> <li>・役員にノルマを課し、「1人で1人を勧誘させる」。</li> <li>・積算士の更新講習はeラーニングは21,000円、会員になると27,000円である。入会する時期によっては不公平が発生する。</li> <li>・講習会の内容を充実させ、会員と非会員の受講料で差をつける。</li> <li>・現状を考えると、講習会での集客は難しい。外部講師を呼び、経費をかけて講習会を実施しても逆ざやになる可能性もある。</li> <li>・講習会のPR方法を再考する必要がある。</li> <li>・協会の財政問題を会員増強と結びつけるのは問題がある。他の建築団体も会員数の減少と財政問題に悩んでいる。財政問題の解決を考えるべきであり、会員増強はその手段の一つである。</li> <li>・公益法人の「公益」を前提とした協会事業を考えなければならない。</li> <li>・不動産鑑定士協会では鑑定業務を発注先から協会を受注し、会員に斡旋をしている。このようなシステムが積算協会でも可能であれば、会員になるメリットが明確になる。</li> </ul>
安達	5	<p>[支部規定修正案関連]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支部規定の変更案を本部で作成した。7月25日までに支部意見を集約するので、</li> </ul>

		<p>資料を読んだうえで支部事務局宛に7月10日までにメールで送信願いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員からの意見</li> <li>・(支部の地域)の項目があるが北海道は『県』がないので、一地域とするのか。</li> </ul>
谷口 安達		<p>[会員委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月8日 日本建築家協会意見交換会出席報告</li> <li>・5月22日 日本構造技術者協会意見交換会出席報告</li> <li>・5月22日 北海道建築技術者協会懇親会出席報告</li> </ul>
堤		<p>[講習委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニ積算学校開講報告 積算士の受験資格は満17歳以上であり、18歳の女子高生が合格した例もある。 現在の講義は積算士受験対策を兼ねた内容となっている。</li> <li>・7月18日 「建築プロジェクトにおけるコストマネジメントと概算」講習会</li> <li>・8月20日 「鉄骨工事」講習会</li> <li>・9月20日 「建築改修工事」講習会</li> </ul>
美濃		<p>[教育委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帯広工業高等学校で積算の講義をすることで、学校側と打合せ中である。学校側からの質問事項があり、五百蔵役員に対応を依頼している。</li> </ul>
武内	6	<p>[資格制度委員会]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度積算士更新講習申込状況の説明</li> <li>・受講対象者数241人</li> </ul>
武内	7	<p>[北海道建築設計会議]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月28日 幹事会開催</li> </ul>
四ノ宮		<p>[その他]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現場見学会</li> </ul>